

母性看護学実習

専門分野

(令和6年度3年生用)

授業科目	母性看護学実習	講師	氏名	内藤 直美	開講年次	単位・時間
			所属	専任教員	3年次 前期	1単位 30時間
			実務経験	臨床看護師		
実習目的	母性を取り巻く社会の現状と課題を理解し、母性看護の意義・役割を学ぶ。女性のライフサイクルにおける性と生殖の意義について理解し、生命を尊重する態度を持ち、家族が抱える課題に対応する基礎的能力を身につける。					
到達目標						
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リプロダクティブ・ヘルスの概念について説明できる。</li> <li>2. 市町村健康センターの母子保健活動内容を述べることができる。</li> <li>3. 乳幼児の養育援助を実践できる。</li> </ol>					
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族の発達についてアセスメントし、子育て支援を検討できる。</li> <li>2. 養育者の子育て心情を推察し、地域における子育て支援の現状を考察できる。</li> </ol>					
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多様な価値観に触れ、生命の尊厳や子育てについて自分の考えを深めることができる。</li> </ol>					
実習期間および実習時間	実習期間 児童福祉施設乳児院 2日間（8：45～15：45：16時間）60分休憩 福津市健康福祉部・子育て支援センター 2日間（10時間） ・ 乳幼児健診6時間（10：30～15：45） ・ 子育て支援センター4時間（8：30～11：30） 学内実習 4時間					
実習内容	児童福祉施設乳児院では、乳幼児の養育援助が中心となる。社会的な問題による子どもの成長・発達への影響をアセスメントしたうえでのかかわりが必要となる。 福津市健康福祉部・子育て支援センターでは、乳幼児健診の見学、子育て支援センターであそぶ母子と関わり子育ての実際を学ぶ。 実習終了後、学内実習にて学びの共有を行う。					
実習施設	児童福祉施設鞍手乳児院 福津市健康福祉部子育て世代包括支援課 福津市子育て支援センター					
評価方法及び評価基準	児童福祉施設乳児院60% 福津市健康福祉部・子育て支援センター40% 合計100%					
テキスト・参考文献	事前学習の内容は実習要領を参考にして下さい。 ナーシング・グラフィカ 母性看護学① リプロダクティブと看護（メディカ出版） 系統別看護学講座 母性看護学各論（医学書院） 参考図書：病気がみえる vol.10 産科（MEDIC MEDIA）					
留意事項	児童福祉施設乳児院は2週間前から健康管理表の記入と、検便の提出がある。3グループに分かれて同じクラスに3日間入る。ロッカーの鍵の紛失防止のため、実習終了時スタッフと確認すること。 福津市健康福祉部・子育て支援センターは開始時間が異なるため気を付ける。					